

株主のみなさまへ

第93期 中間報告書

2017.4.1-2017.9.30



基本理念

1. 社会 よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す。
 - 1) 企業倫理の徹底をはかり、公正で透明な企業活動の推進。
 - 2) クリーンで安全な商品を提供することを使命とし、地球環境保護を重視した企業活動の推進。
 - 3) 地域社会の一員としての役割を自覚し、よい社会づくりに貢献。
2. お客様 革新的な技術開発、製品開発に努め、お客様に喜ばれる、よい商品を提供する。
3. 株主 将来の発展に向けた革新的経営を進め、株主の信頼に応える。
4. 社員 労使相互信頼を基本に、社員の個性を尊重し、安全で働きやすい職場環境をつくる。
5. 取引先 開かれた取引関係を基本に、互いに研鑽に努め、共に長期安定的な成長を目指す。

株主のみなさまへ



平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

IoTや人工知能などの技術革新が加速し、自動運転技術も進展するなど、私たちを取り巻く環境は今後大きく変貌するとともに、グローバル競争もますます激化することが予想されます。

そのような中、当社グループは、ビジョンのありたい姿「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」として、将来を見据え、持続可能な成長を実現するため、グループをあげて課題に取り組んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

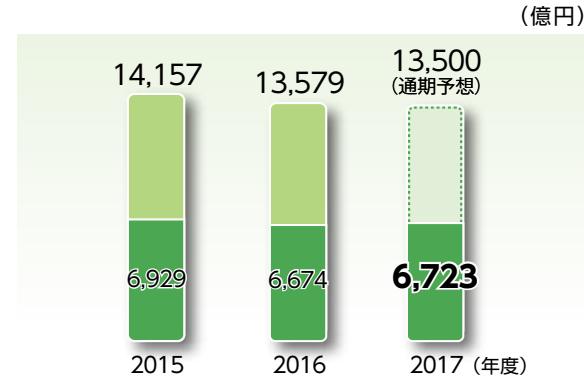
取締役会長 **豊田周平**
 取締役社長 **石井克政**

目次

株主のみなさまへ	02
財務ハイライト	03
トピックス	05
決算概要	09
会社の概況	10

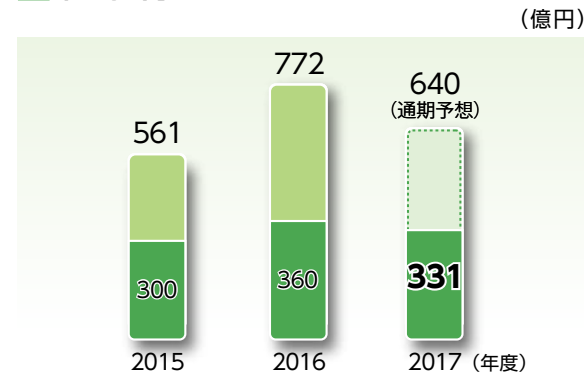
連結決算のご報告
財務ハイライト

売上高



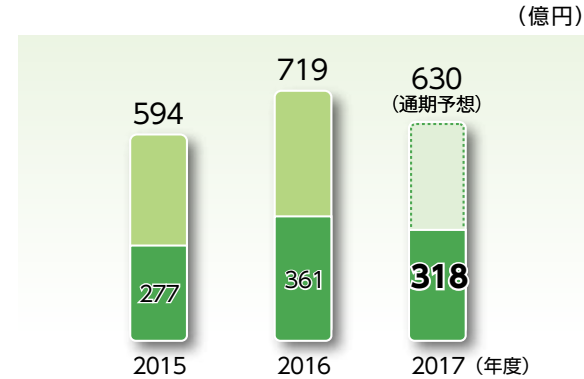
売上高は、欧州地域などでの生産台数の増加により、増収となりました。

経常利益



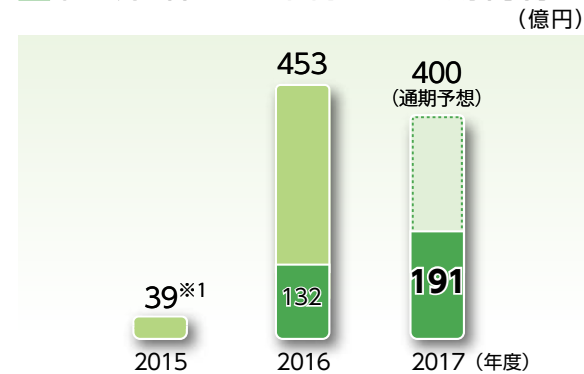
営業利益の減少などにより、減益となりました。

営業利益



増産の影響や合理化などの増益要因はありましたが、諸経費の増加などにより、減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

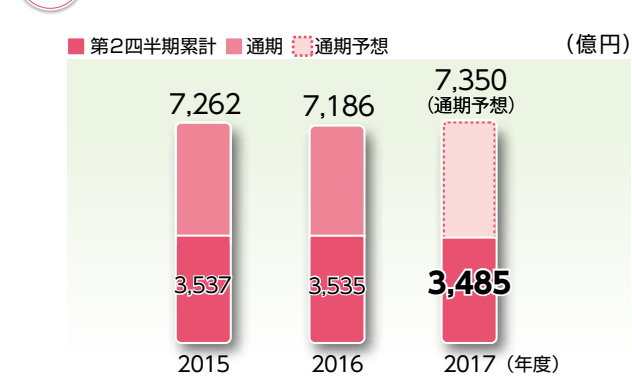


税負担の減少などにより、増益となりました。

*1 2015年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期累計177億円、通期39億円でした。

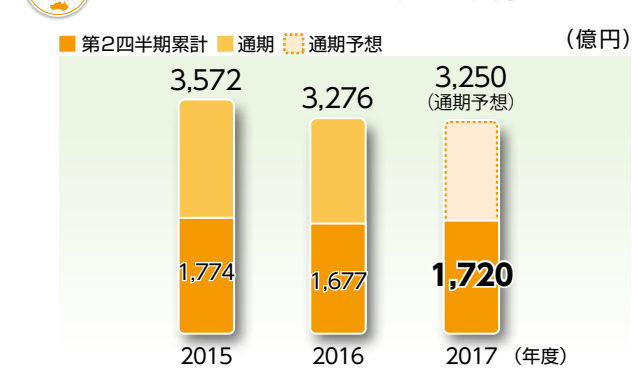
連結決算のご報告
地域別事業概況

日本の売上高推移



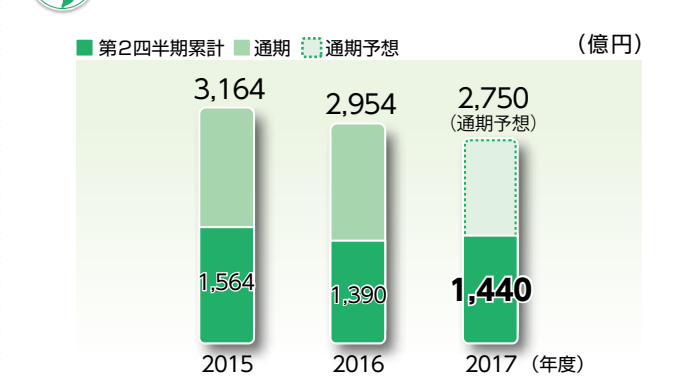
減産の影響などにより、前年同期に比べ50億円(△1.4%)減少の3,485億円となりました。

アジア・オセアニアの売上高推移



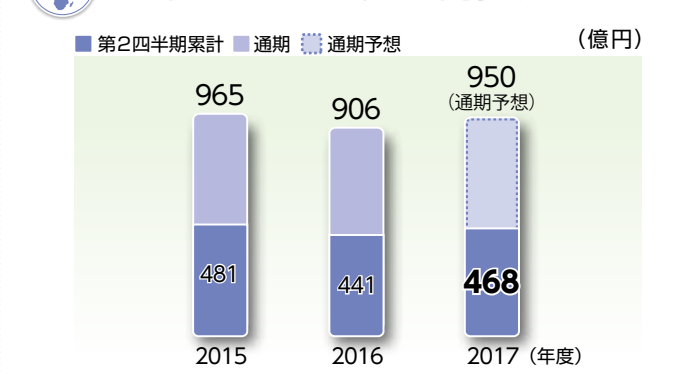
中国などでの増産の影響などにより、前年同期に比べ43億円(2.6%)増加の1,720億円となりました。

北中南米の売上高推移



減産の影響はありましたが、為替の影響などにより、前年同期に比べ50億円(3.6%)増加の1,440億円となりました。

欧州・アフリカの売上高推移



生産台数の増加などにより、前年同期に比べ26億円(6.0%)増加の468億円となりました。

トピックス

01 トピックス 未来に向けた取り組み 東京モーターショーに出展

自動運転の実用化やパーソナルモビリティの普及など、クルマのあり方が大きく変貌していく中、ビジョンで掲げる「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提供し続ける会社」として持続可能な成長を遂げるため、トヨタ紡織では新しい価値の創造・提供を進めています。



10月25日から東京ビッグサイトで開催された第45回東京モーターショーでは、将来を見据えた新たなコンセプトモデルを提案。新しい室内空間の一例を、来場者のみなさんに広く紹介しました。



VODY※1
乗る人の体型や気分など人の状態に合わせて内装が変化。シートの形状や空間がリラックスモードなどに切り替わります。
※1 VOID(空間)とBODYを合わせ、人と繋がることで完成する空間を意味する造語

MOOX※2
完全自動運転を想定した多目的移動空間。カラーセラピーやアロマ、音楽や健康促進で心と体をメンテナンスします。
※2 MOBILEとBOXを合わせ、移動空間を自在に活用できる個室を意味する造語

QUALITY OF TIME AND SPACE



[QUALITY OF TIME AND SPACE]をコンセプトに出展

■ 未来に向け、全社員の心を一つに –グローバルウィークを開催–

トヨタ紡織グループの新しい未来づくりに向けて、各事業体トップや次世代リーダー約270人の社員が参加し、7月にグローバルウィークを開催しました。2016年5月に発表した中期経営実行計画の進捗と今後の方向性をグローバルに共有し、未来の働き方や工場IoTの目指す姿などを議論するなど、当社の目指す未来とその実現に向け、グローバルで取り組んでいます。



02 トピックス 事業展開 ベトナムの生産会社 トヨタ紡織ハノイが GOOD FACTORY賞※受賞

一般社団法人日本能率協会が主催する2017年度(第7回)GOOD FACTORY賞で、トヨタ紡織ハノイ(TBHN)が「ものづくりプロセス革新賞」を受賞しました。TBHNは、「生き残りをかけた、ものづくりプロセス革新」をテーマに、人のカンコツに頼る部分があった縫製作業に焦点を当て、現地メンバーが主体となって品質不具合を抑えるしくみ・プロセスを強化。活動ステップと継続的な取り組みへの工夫が評価されました。

トヨタ紡織グループでは、2012年度にタイの生産会社、



中心となって取り組んだメンバー

トヨタ紡織ゲートウェイ(タイランド)、2015年度に中国の生産会社、広州桜泰汽車飾件有限公司が受賞し、今回が3回目です。

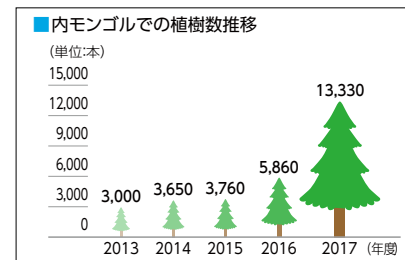
※アジア地域の日系企業を対象に、品質向上など4部門において成果をあげた工場を顕彰

03 トピックス 環境活動・社会貢献活動 中国 内モンゴルで森づくり活動を実施

トヨタ紡織グループでは、2016年に策定した「2050年環境ビジョン」で6つのチャレンジ目標を掲げ、その一つとして「132万本植樹にチャレンジ」に取り組み、各地域で森づくり活動を推進しています。

砂漠化が進んでいる中国では、豊田紡織(中国)が主体となって、2013年から域内の全事業体と取引先などが協力

して植樹活動を進めています。参加人数も植樹本数も年々増加し、社員の環境意識も向上してきました。本年5月に実施した5回目の植樹活動では、社員や地域の方から寄付を募り、豊田紡織(中国)創立15周年を記念した記念植樹も行いました。



森づくり活動参加者



トピックス

04 トピックス 技術開発 新型LSにシート、内装品が搭載

トヨタ自動車(株)が10月に発売したLEXUSの新型LSに、当社製のシートやドアトリムなどの内装部品が搭載されました。乗る人の体格・状況に合わせきめ細かく調整でき、長時間走行時の身体への負担を軽くするシート、居住性を極めたリアスペースと上質な室内デザインを配し、世界最高峰セダンの名にふさわしく、くつろぎの室内空間を実現しました。



高級感のある意匠、操作性、乗り心地を向上

05 トピックス 事業展開 (株)タチエスの株式を取得

当社とタチエスは、2017年3月に自動車用シート事業におけるグローバル市場での競争力強化を目的に、業務提携契約を締結しました。両社の関係をより強固にし、業務提携の効果の最大化を図るため、6月にタチエスの発行済み株式の4.17%にあたる1,521,000株を当社が取得。今後、両社で既存部品の相互供給、新規部品の開発検討、生産拠点・設備の相互活用などで連携を強化し、お客様の期待を超えるシートづくりに取り組み、さらなる競争力の向上を目指します。

06 トピックス 技術開発 上海モーターショーに出展

4月に第17回上海国際モーターショーに出展しました。4回目の出展となる今回は、表皮一体発泡工法で先進的なデザインと高い乗り心地を両立した、2017年3月に発売されたLEXUS LCのスポーツシートなどを展示。中国でトヨタ紡織の技術開発力の高さを積極的にアピールしました。



中国で開発・生産するシートや内装品も数多く紹介しました

07 トピックス 技能 初出場の技能五輪国際大会で金メダルを獲得

10月にアラブ首長国連邦で開催された第44回技能五輪国際大会に初出場し、メカトロニクス職種*でトヨタ紡織学園の岡野選手と佐藤選手が金メダルを獲得。さらに、日本から参加した職種の中から最も高得点を獲得した職種に贈られるベスト オブ ネイションを受賞しました。国際大会は2年に一度開催され、今大会のメカトロニクス職種には37の国と地域から37チームが参加。日々の訓練の成果が実を結び、当社初の快挙となりました。

*メカニクス(機械工学)とエレクトロニクス(電子工学)、インフォマティクス(情報工学)の3分野の技能からなる競技。実際の生産現場と同様の生産自動化モデルを使用し、装置の設計、組立、調整、プログラミング、トラブルシューティングなどを競う。



培ってきた技能の高さを世界で発揮



金メダルを獲得した岡野選手(左)、佐藤選手

08 トピックス IR活動 株主・投資家とともに

株主のみなさまや機関投資家のみなさまに当社グループへの理解を深めていただくため、工場や施設などの見学会を継続的に開催しています。今後も、株主のみなさまとのよりよい信頼関係づくりに努めていきます。

■ 定期株主見学会

2017年6月の株主総会終了後、刈谷工場と猿投工場の見学会を開催し、刈谷と猿投の生産ラインに加え、自動車の動力や燃費に影響を与える走行抵抗を測定する設備等をご見学いただきました。



刈谷技術棟の実験・評価設備を見学

■ 多治見技術センターテストコース見学会

アナリストや機関投資家の方を招待し、多治見技術センターテストコース見学会を開催しました。実際にクルマに同乗してテストコースを走行し、乗り心地評価を体感していただきました。また、試座や座圧分布評価を通してシート評価の難しさやシート開発の奥深さをご理解いただきました。



シートの乗り心地の違いを体感

トヨタ紡織から世界へ

2020年東京オリンピック・パラリンピック愛知県強化指定選手に当社から2人が選出されました。3年後の大会出場に向け、全力を傾ける2人の意気込みを紹介します。

■ 東京オリンピック強化選手

ボート部 池田裕紀 選手
リオデジャネイロオリンピック選考会で選ばれなかった悔しさを胸に練習に励み、東京オリンピックには必ず出場します。その上で、メダルを獲得できる力をつけていきます。



<ボート競技 軽量級ダブルスカル種目>
2名1チームで艇に乗る体重制限が設けられた種目。直線2000mのコースで順位を決めます。

■ 東京パラリンピック強化選手

車いすテニス 松田瑤平 選手
大学1年から本格的に車いすテニスを始め、初めて強化選手に指定されました。学生時代とは環境が違いますが、仕事と両立しながら練習を重ね、東京パラリンピック出場を目指します。



<車いすテニス競技>
ツープラウンドでの返球が認められている以外は、一般のテニス競技と同様のルール。回転性や敏捷性が高い専用の車いすを使用するため、競技技術はもとより、車いすの操作性が勝敗の鍵となります。

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当第2四半期末 (2017年9月30日)
●資産の部		
流動資産	436,032	421,126
固定資産	255,888	258,257
有形固定資産	198,302	196,029
無形固定資産	7,937	8,422
投資その他の資産	49,648	53,805
資産合計	691,921	679,383

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	当第2四半期累計期間 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)
売上高	667,485	672,313
売上総利益	77,210	72,037
販売費及び一般管理費	41,062	40,147
営業利益	36,148	31,890
営業外収益	4,402	4,870
営業外費用	4,454	3,656
経常利益	36,096	33,103
税金等調整前四半期純利益	36,096	33,103
法人税等	18,536	9,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,277	4,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,281	19,133

(単位：百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当第2四半期末 (2017年9月30日)
●負債の部		
流動負債	286,298	263,848
固定負債	129,347	127,014
負債合計	415,646	390,862
●純資産の部		
株主資本	251,455	264,896
その他の包括利益累計額	△ 21,034	△ 19,248
非支配株主持分	45,853	42,873
純資産合計	276,274	288,520
負債純資産合計	691,921	679,383

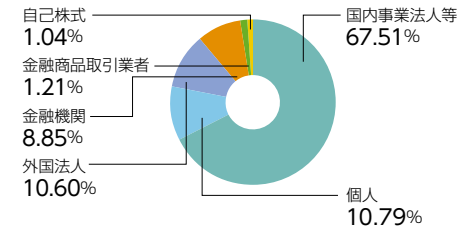
会社の概況 (2017年9月30日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 500,000,000 株
 発行済株式の総数 187,665,738 株
 (自己株式 1,958,276 株を含む)

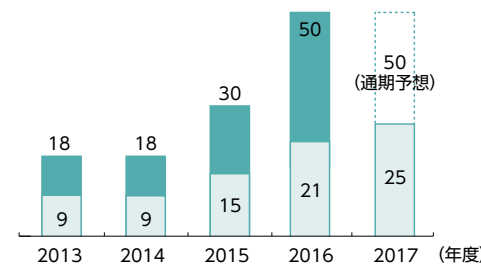
株主数 (13,503 名)

所有者別株式分布状況



配当金の推移

年間 (単位：円)
 第2四半期



当社は、長期安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

●中間配当金について

2017年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

1. 中間配当金：1株につき25円
2. 効力発生日ならびに支払い開始日：2017年11月27日

会社データ

設立 1950年5月
 資本金 8,400百万円
 従業員数 単独 8,274名 連結 42,291名
 本社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

役員 [取締役および監査役]

取締役 会長	豊田 周平	取締役	守川 正博 ^{※1}
取締役 社長	石井 克政	取締役	小笠原 剛 ^{※1}
取締役 副社長	滝 隆道	取締役	佐々木一衛 ^{※1}
取締役 副社長	沼 毅	取締役	加藤 宣明 ^{※1}
取締役 副社長	掘 弘平	常勤監査役	山内 得次
取締役 常務役員	笛田 泰弘	常勤監査役	水谷 輝克
		監査役	佐々木真一 ^{※2}
		監査役	吉田 均 ^{※2}

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

主な製品



株式事務のお取扱いについて

■ 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会

毎年6月

■ 配当金支払株主確定日

3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日

■ 株主名簿管理人および特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1

■ ご注意

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取(買増)請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関する手続きについて

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	<ul style="list-style-type: none">● 特別口座から一般口座への振替請求● 単元未満株式の買取(買増)請求● 住所・氏名等のご変更● 特別口座の残高照会● 配当金の受領方法の指定※	<ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期限経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	特別口座管理機関	株主名簿管理人
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [手続き書類のご請求方法] ● TEL 0120-232-711 (通話料無料) ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	<ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期間経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ	<ul style="list-style-type: none">● 左記以外のお手続き、ご照会等
お問合せ先	株主名簿管理人	口座を開設されている 証券会社等にお問合せください
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

■ 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL **0120-232-711** (通話料無料)